

海外発注可 納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンライン技術 メイドインジャパン 試作可小ロット 量産対応



開発著しい「久宝寺駅前」に位置する本社工舎。ここ八尾から、さらなる飛躍をめざす

錦城護謨 株式会社

身近な家庭用品から 国土開発まで 「ゴム」から可能性を築く

ゴムと異素材の
一体成形技術
他にはない技術を創りだす

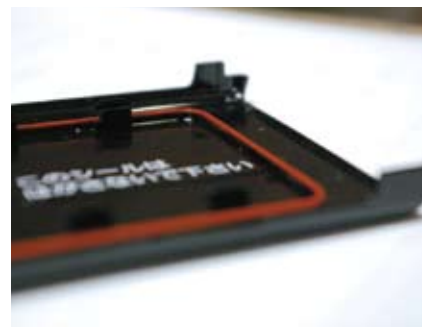
周囲を見渡すと、身近な生活用品に多く利用されているゴム製品。そんな生活に欠かせない身近な素材を扱っているのが錦城護謨だ。主に白物家電、OA関連機器、携帯電話等に付随するゴム部分の製造を行っている。

柔軟性に富んだゴムという素材を出発点に、地元大阪の大手家電メーカーとともに歩み、発展してきた同社。現在、製品の中で注力しているのが、異素材と同時に成形する液状シリコンゴムの複合成形だ。これは、従来なら個別に成形し接着剤で接着していた素材を、一体化成形できる技術。例えば、樹脂である防水携帯電話の筐体と、防水のためのゴム部分を一体成形すると、粘着テープを使用しないため、貼り直し等の不良が出さない。これでコストを削減、厚さも薄くでき、ひいては環境にもやさしくなる。一石二鳥にも三鳥にもなる技術だ。これで、防水携帯電話はさらに薄くなることも可能となった。新たな市場としての期待も大きく、応用範囲も広いことから、新工場を建設。製造機器も開発し、工場力を駆使した今後の飛躍に期待が膨らむ。

最先端の地盤改良技術で 国土開発も

ゴム製品以外にも、ETCゲートに使われる車両センサーの製造や、地盤改良のための開発生産等、顧客ニーズに合わせて技術を磨いた結果、事業展開に広がりを見せる錦城護謨。

特に、独自開発の『キャッスルボード』(プラスチックドレン材)は、地盤改良剤品として開発のみならず、施工までを二



赤いゴム部分と黒い樹脂部分は一体成形だ。これで、防水携帯はさらに薄化が可能となる

貫して受注している。ものづくりで培った一貫したこだわりが、高性能なドレン材・打設機・管理装置・情報処理ソフト等を生みだし、多彩な地盤改良のニーズに応えている。また、ドレン材に関しては、再生・生分解材料(例えば廃棄米等)を利用した開発に取り組み、環境への配慮も行っている。

大阪から発信するものづくり ここ、八尾で生き残る

『創・究・心・磨・拓・挑』をキーワードに、ものづくりの精神が宿る多角的展開を行う同社。クライアントも多産業に渡る分、常に2000アイテム以上がライン上を流れているという。その管理のためにも、独自のITシステムを導入。あらゆるクライアントの要求にフレキシブルにマッチする管理体制が構築されている。

ゴム樹脂製品製造と、国土開発という両輪を礎に、福祉、環境の分野でオリジナル商品も開発。今後あらゆる生活場面、同社の製品に出会うことも少なくないだろう。

ここ大阪・八尾で生き残っていく。技術、品質、安全でオンラインワンをめざすことを誓っている錦城護謨だ。

Company Profile

錦城護謨株式会社

ISO 14001 大阪22
ISO 9001

住所 〒581-0068
八尾市跡部北の町1-4-25
TEL 072-992-2321
FAX 072-993-7706
創業 昭和11年5月
資本金 8,000万円
従業員 253名
代表取締役社長 太田 泰造

■主な事業内容
工業用ゴム製品の製造販売、土木資材(キャッスルボード)製造・販売および地盤改良工事

■主な取引先
大手電機メーカー、大手ゼネコン各社等

<http://www.kinjogomu.jp>

他社には
負けない

当社のものづくり
セールスポイント

ゴム事業・土木事業に加え
環境・福祉・健康・防災の分野で
飛躍したい

代表取締役社長 太田 泰造 さん



日本国内でのものづくりにこだわり続け、ゴム事業から土木事業に至るまで、常に“素直さと謙虚さ、情熱と勇気”を大切に、さまざまな方向へ事業を展開。ユーザーの多様なニーズに対応できる、間口の広い企業でありたいと願っています。